

# Q & A

## 全 体

### Q 授業時間と時間割について教えてください。

A 授業時間は1コマ90分です。  
1限目: 8:50~10:20      4限目: 14:40~16:10  
2限目: 10:30~12:00      5限目: 16:20~17:50  
3限目: 13:00~14:30

### Q 他学部や他学科の授業を聴講することはできますか。

A 聴講することは、可能です。ただし、卒業単位には算入されない場合や、担当教員の上記が必要となることもあります。

### Q 海外留学したいのですが、4年間で卒業することは可能ですか。

A 不可能ではありませんが、年間で修得できる単位の上限等があり、また、海外留学期間にもよりますので、留学される際には、所属する学部の教務担当者、国際課に相談の上、行ってください。

### Q 入学後、学部や学科を変更できますか。

A 入学後、進路変更を希望する学生のため、転学部(学部の変更)・転学科(同一学部内での学科変更)の制度があります。転学部および転学科の受験資格等については、転入学部、転入学科が定めます。一般的には、様々な条件を満たさなければ利用するのは難しい制度です。

## 教育学部

### Q 教員免許とは何ですか？教員になるためにはどうすればよいですか？

A 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校で教えるために必要な免許です。免許には二種免許、一種免許、専修免許があります。中学校や高等学校では、教科別の免許があります。たとえば中学校で国語の授業を担当する際には、「中学校教諭(国語)」の免許が必要になります。高等学校の場合には「高等学校教諭(国語)」の免許が必要になります。教育学部を卒業すると一種免許あるいは二種免許を取得することができます。さらに大学院学校教育学研究科(教職大学院)を修了すると専修免許を取得することができます。(ただし、特別支援学校教諭の専修免許は取得できません)

教員免許を取得して、各都道府県市あるいは私立学校の採用試験に合格すると、教諭として勤めることができます。採用試験に合格しなくても、常勤講師や非常勤講師として臨時採用教員になることもできます。

### Q コースや専攻によって、取得できる教員免許にちがいはありますか？

A 基本的に、どのコース・専攻でも、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の免許を取得することができます。ただし、主に取得をめざす免許の種類には次のようなちがひがあります。これに加えて、高等学校などの他校種の免許を取得することができますが、成績や時間割の制約により困難な場合があります。

- 幼小発達教育専攻: 幼稚園一種、小学校一種
- 特別支援教育専攻: 小学校一種、特別支援学校一種
- 初等教育主専攻: 小学校一種、中学校二種
- 中等教育主専攻: 小学校二種、中学校一種

なお、教育学部で取得できる教員免許の種類・教科は次の通りです。中学校教諭と高等学校教諭については、括弧内から取得する教科を選ぶことになります。

- 幼稚園教諭一種免許状、二種免許状
- 小学校教諭一種免許状、二種免許状
- 中学校教諭一種免許状、二種免許状  
(国語、社会、数学、理科、英語、音楽、保健体育、技術、家庭)
- 高等学校教諭一種免許状  
(国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語、音楽、保健体育、書道、家庭)
- 特別支援学校教諭一種免許状、二種免許状

### Q 高校の教員免許を取りたいのですが、可能ですか？

A 可能です。  
上記や、教育学部のページの取得可能免許・資格一覧をご覧ください。

### Q 教育実習というのは、何年生でどれくらいの期間、どこで行うのでしょうか？

A 教育実習の実施時期、実施期間等は次の通りです。

学校種	実施学年、実施期間	実施学校
小学校教育実習	中等教育主専攻の学生→4年生、2週間 その他の学生→3年生、4週間	附属小学校 代用附属小学校※ 佐賀市内小学校
中学校教育実習	中等教育主専攻の学生→3年生、4週間 その他の学生→4年生、2週間	附属中学校 代用附属中学校※ 佐賀市内中学校
高等学校教育実習	4年生、2週間	出身高校
特別支援学校教育実習	4年生、2週間	附属特別支援学校 県立特別支援学校
幼稚園教育実習	4年生、2週間	附属幼稚園

※代用附属小学校、代用附属中学校:それぞれ、佐賀市立本庄小学校と佐賀市立城西中学校です。一般の公立学校ですが、附属小学校や附属中学校と同様に教育実習指導が行われています。

### Q これまでの文化教育学部とのちがいは何ですか？

A これまでの文化教育学部には4つの課程(学校教育課程、国際文化課程、人間環境課程、美術・工芸課程)がありましたが、平成28年4月に設置される教育学部では学校教育課程の1課程になります。課程の数は減りますが、学校教育課程に関していえば、定員の数は増加します。文化教育学部学校教育課程の定員は90名でしたが、教育学部学校教育課程の定員は120名です。教育学部では、「幼小連携教育コース」「小中連携教育コース」という名称にもあるように、「学びの連携」をキーワードとして、これからの時代に求められる専門的で高度な教員養成を行います。

### Q 教員免許を取得しなくても卒業できますか？

A 取得しない場合は卒業できません。卒業必修単位をすべて修得すると、各専攻に応じて教員免許状が授与されます。これに加えて、必要な単位を修得すると、他校種の教員免許も修得できます。

## 芸術地域デザイン学部

**Q** 美術館に行って作品を見るのは好きですが、絵を描いたり、工作したりするのは苦手です。芸術地域デザイン学部でやっていけるでしょうか。

**A** 本学部の特に地域デザインコースでは、まったく問題がありません。同コースでは、授業の中で、芸術表現の実技にも触れる機会がありますが、テクニックを磨くことが目的ではありません。また、芸術表現コースを志望する人も、テクニックや表現力は大学に入ってからしっかり学ぶことができます。

**Q** 希望する分野にはどのようにして振り分けられますか。

**A** 本学部では、専門性とさまざまな学問分野の知識や手法の両方を身につけることができます。学生の希望を尊重しながら、教員と学生が話し合いの上、各自の適性を見極め、2年生から専門の分野に分かれます。2年生以降も、自分の専門とする分野以外の勉強も続けることができます。

**Q** 歴史、考古学、地理学、異文化コミュニケーション、国際関係学、地域史など文化教育学部で学ぶことのできた学問を学びたいのですが、可能でしょうか。

**A** もちろん可能です。本学部でもこれらの分野の専任教員がいますので、専門的な研究をすることができます。これらの分野を研究しながら、芸術や芸術の手法についても学ぶことで、厚みのある専門性が身につきます。

**Q** 外国語や外国に関わる科目はありますか。

**A** あります。外国語は英語の他、フランス語、ドイツ語、朝鮮語、中国語を学ぶことができます。また、外国の歴史や文化に関わる科目、海外での実習(国内外芸術研修)も選択できます。

**Q** 理系なのですが、陶芸やメディアデザインに興味があります。入試が心配です。

**A** 理系の人にも是非、本学部で学んでほしいと思います。理系の人にはセンター試験の一般入試前期試験の4科目型(理系2科目が選択できます)と、同じく前期試験の個別学力検査の実技検査(発想表現)試験を選択することをお勧めします。

**Q** 美術は大好きですが、内気な性格です。芸術地域デザイン学部で修得できる力として、グループ実習を通したコミュニケーション力や協調性などが挙げられていますが、気後れてしまいます。こんな私でも芸術地域デザイン学部でやっていけるでしょうか。

**A** もちろんやっていけます。本学部のモットーは、一人一人の個性にあった親身の指導です。内気な性格をポジティブに捉え、好きな美術に打ち込んでください。もちろん、あなたにその気があれば、コミュニケーション力などはアップできます。

**Q** 新設学部のため、先輩がいないことが不安です。

**A** 芸術地域デザイン学部の先輩はいませんが、文化教育学部の国際文化課程、人間環境課程、美術・工芸課程の先輩(2~4年生)はいます。特に美術・工芸課程の先輩や院生(教育学研究科)は、芸術地域デザイン学部の学生と同じ校舎で学びますので、多くの接点があり、先輩からいろいろなことを教えてもらうことが可能です。

**Q** 本庄キャンパスと有田キャンパスは離れていますが、学生は2キャンパス間を何で移動するのですか。また、陶芸を学びたいのですが、どこに住めばよいのですか。

**A** 二つのキャンパスは専用のシャトルバスで繋がれます。授業の開始と終了に合わせて、バスは運行されます。また時間割も二つのキャンパスの授業が難なく履修できるように配慮されていますので、授業の履修には問題がありません。陶芸・ファインセラミックスを学ぶ人は、2年生から有田キャンパスで行われる授業が中心となりますので、有田が有田近辺に居住することをお勧めします。

**Q** 新しい学部、しかも芸術系なので、就職が心配です。

**A** 教員、キャリアセンター(就職課)などが一体となり、学生の就職支援にあたります。本学部の芸術表現コースの母体である文化教育学部の美術・工芸教室は60年以上の歴史があり、教育界、一般企業、自治体、美術館などに多くの人材を輩出しています。その同窓会組織も十分に活用して、就職支援に取組みます。また、3年次にインターンシップ(企業実習)を取り入れることも計画しています。既に述べたように、芸術的な視点や手法は、さまざまな職種で必要とされています。現在、社会で求められているスキルや知識は何かを察知し、それを育む教育を行い、学生ひとりひとりが希望する進路へと導くことが教職員の使命と考えています。

## 経済学部

**Q** 経済学部独自の英語プログラムについて教えてください。

**A** 実践的で全般的な英語力を身につけるために、特別に開発された2年生以上を対象とする英語プログラム(Integrated Skills Program)です。このプログラムは、英語に必要なリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4つの能力のそれぞれに重点を置いた4種類のクラスを開講し、統合された英語力を最大限に伸ばそうとするものです。これらのクラスはTOEICや英語検定受験のための基礎学力にもなります。また、これら4種のクラスに加えて、上級者にはTOEFLやIELTS受験準備のためのクラス(上級クラス)もあります。セルフアクセスセンターがあり、個人に合った学習ができるように、自習用の教材がそろっています。

**Q** これまで、経済学部から法科大学院に進学された方はいらっしゃいますか。

**A** 卒業後、国立・私立の法科大学院に合格、進学した人たちがいます。その中には、すでに新司法試験に合格して、弁護士として活躍されている方もいます。経済学部では法律の授業も充実しており、経済学部としてはユニークな点です。

**Q** 公務員になりたいのですが、どのような勉強が役立ちますか。

**A** 大学卒業程度の地方公務員試験などでは、教養試験に加え専門科目があります。専門科目は、一般的に行政系科目(政治学、行政学、社会学、国際関係)、法律系科目(憲法、行政法、民法、商法、刑法、労働法)、経済系科目(ミクロ・マクロ経済学、財政学、経営学、会計学)に分けられ、経済学部で学ぶ学問分野と重複する分野が多くあります。ただし、経済学部で学ぶことは、公務員試験の勉強とは異なりますので、試験対策は別に考える必要があります。

**Q** ゼミはどのようにして決定されるのですか。

**A** 学科所属の教員の中から選べますが、演習は10名程度と少人数制になっています。希望するゼミの教員プロフィールは、大学入門科目と入門ゼミ、1、2年生の授業で分かるようになっていますが、自分で学生間の情報をしっかりと入手することも大切です。

## Q 経済や法律に関する資格を取得することはできますか。

**A** 経済学部の授業は様々な資格取得に役立ちますので、学生は自分達で目標を持って授業を選択し学んでいます。特に受験希望者が多い行政書士は、課外講座を行っています。日商簿記3級の内容は「簿記会計入門」と「基礎簿記」の講義内容と対応しています。

## Q 商業系の科・情報系の科・総合学科の推薦入試における資格取得状況の評価方法を教えてください。

**A** 英語・簿記・情報・商業経済の4つの分野ごとに点数化しています。一つの分野でひとつの資格しか評価しませんが、より上位の資格を評価します。

## 医学部

## Q 医師になるためには、どのような過程が必要ですか。

**A** 大学の医学部で6年間の教育を受け卒業すると、医師国家試験受験資格が得られ、医師国家試験に合格すると医師資格が取得できます。ただし、診療に従事しようとするすべての医師に2年間の臨床研修が義務付けられています。2年間の研修終了後は各自の志望により、総合医、あるいは専門医として、後期研修を受けることになります。

## Q 救命救急医になりたいのですが、今のうちから考えておくことはありますか。

**A** 救命救急医に限るものではありませんが、医師の勉強は生涯のものであり、学生時代の勉強は単にそのスタートにすぎません。大学で医学を学び、将来、信頼される心と力量を備えた医師になるためには、高等学校の段階から理数系に偏った学習をすることなく、幅広い教科について十分な基礎学力を身につけておくことが必要でしょう。また、病める人の立場にたつて物事を考えることのできる「人間性」も求められますので、受験に向けた高校生活だけでなく学業も含めた様々な活動や幅広い生活を通じて培われる豊かな心も育ててください。自ら適性の有無を見極め、早い時期から将来に向けて問題意識を持ち、適切な判断と処理のできる能力を養っていただくことが望まれます。

## Q 看護師と保健師の資格を4年間でとることはできますか。

**A** 可能です。看護学科では、看護師教育課程を基盤に、保健師教育課程(公衆衛生看護コース)や助産師教育課程(助産コース)を選択し学習するカリキュラムが導入されました。看護師の資格は、本学看護学科において、4年間看護に関する教育を受け卒業すると、看護師国家試験受験資格が得られ、看護師国家試験に合格すれば看護師資格が得られます。また、保健師資格は、本学科の公衆衛生看護コースを選択し、公衆衛生看護に関する選択科目を履修した人に保健師の国家試験受験資格が与えられます。

## Q 日本で医師の資格をとれば、外国で医療を行うことはできますか。

**A** 原則として日本の医師資格は日本でのみ有効です。しかし、国や施設によって条件付きでの医師資格が認められるところもあるようです。また、災害など緊急時の支援のために派遣される場合など、医療行為が認められる場合もあります。

## Q 医師になるよりも研究者になりたいのですが、特別なコースがありますか。

**A** 米国など諸外国には医師と研究者でコースを区別しているところもありますが、本学にはありません。研究者になるには2~4年次の選択コースにおいて当該分野を重点的に選択し、卒業後に大学院へと進学することになります。

## Q 看護師を目指しています。看護専門学校ではなく、大学で勉強することのメリットとは何ですか。

**A** 近年、日本の高齢化・国際化社会の中で、医療のめざましい発展や保健・福祉の複雑化により、医療従事者の果たす役割は極めて大きく重要なものとなっています。このような社会情勢の中で、看護職者には高度化、多様化した医療内容に対応できる高い専門知識・技術、さらには幅広い視野、豊かな感性が要求されています。看護系大学では、4年間に大学としての独自の教育も盛り込みますから、看護学の教育の中でより深い知識と広い視野、指導能力を養うことができるとともに研究能力の基礎を築き、学士(看護学)の学位を得ることができます。また、本学においては看護師教育に加え、保健師や助産師への道を開くための教育が4年間のカリキュラムの中で一貫して受けることが出来るよう工夫されています。さらに、大学院へ進学し、研究者、高度専門職者へ進む道もあります。

## Q 助産師の資格を取得したいのですが、人数制限があると聞いています。入学後の成績が優秀でないと取得するのは難しいですか。

**A** 助産師コースは、実習施設等の制約から選択できる人数は、6名程度です。2年次に学業成績や面接などにより学内選考が行われますが、1年次から目的意識をもって計画的に学習することが肝要です。

## 理工学部

## Q 理学系と工学系が一緒になっている学部の強みを教えてください。

**A** 理工学部は理学と工学の融合をテーマとし、「基礎に強い工学系人材」、「応用に強い理学系人材」の育成を教育目標にしています。本学部では専門周辺科目が用意され、理学系の学生には工学系の講義の受講を、工学系の学生にはサイエンスに関する講義の受講を、といったクロス履修を義務付けられています。専門周辺科目によって、学生は偏ることのない知識を身につけ、多角的な専門知識を習得できます。

## Q 実業系高校出身ですが、入学後の勉強についていけるか不安です。高校生時代に何をやっておけば良いでしょうか。

**A** 理工学部の多くの学科では、前期日程の学力試験で課したセンター試験・個別試験科目の出題範囲を、修得したものととして教育を始めます。したがって、例えば実業系高校出身で推薦入学する学生には、修得していない範囲について、入学時までに高校において、または独習で補習しておくことを望みます。特に、本学部では数学は重要であり、数IIIなどの補習は不可欠です。実業系高校出身であっても、優秀な成績で卒業した学生は数多くいます。

## Q 技術者教育プログラム(JABEE)について教えてください。

**A** 日本技術者認定機構より、学科の教育プログラムが社会の要求水準を満たしていると認められたものです。JABEEに認定されたプログラムの修了生は国家資格である「技術士」の1次試験を免除されるなどのメリットがあり、将来幅広い分野で国際的に活躍することが可能です。

## Q 普通科高校の教師になりたいと考えています。教育学部で教員免許を取得する場合と比べて理工学部で教員免許を取得することのメリットとは何ですか。

**A** 理工学部では、高校の数学(数理科学科、知能情報システム学科)、理科(物理科学科、機能物質化学科)、情報(知能情報システム学科)の教員免許が、対応する学科で所定の単位を取ることによって取得できます。それぞれの学科では、数学、物理、化学、情報科学の専門分野をしっかりと勉強しますので、免許を取得して教師になれば、深い専門知識・専門能力を持った高校教師として活躍できます。

## Q 佐賀大学理工学部の特徴的な研究は何ですか。

**A** 理工学部・大学院工学系研究科では、研究の発展として設立された研究センター(海洋エネルギー研究センター、低平地沿岸海域研究センター、シンクロトロン光応用研究センターなど)と連携して、エネルギー、環境、応用工学などの分野で先進的研究を行っています。さらに、先端融合工学専攻では、医工学、機能材料工学の研究を行っています。他にも、各専攻(学科)には、専門分野で高い評価を得た研究が数多く存在します。

## Q 宇宙について勉強したいのですが、どのような勉強ができますか。

**A** 講義でビッグバン宇宙論について、卒業研究で一般相対論と宇宙論を学ぶ機会があります。講義によって、宇宙の膨張則と最新の観測結果を合わせてダークエネルギーやダークマターが存在することが分かります。卒業研究では、ブラックホール解、元素合成、インフレーションなどの初歩的なことを勉強できます。

## Q 自分が所属する研究室は、どのように決めるのですか。

**A** 卒業研究等での所属研究室は、おもに学生の希望にもとづいて決められます。卒業研究等の着手資格を得た学生に対して、各研究室の教員が研究テーマを提示して説明を行います。提示された研究テーマを参考にして、学生は所属研究室の希望を申請します。ただし、研究室の定員を越える希望があった場合は、希望学生の成績に従って所属学生が決定されます。

## Q 大学院に進学したいと考えています。どのように勉強すればよいですか。

**A** 大学院に進学する場合、一般的には学力試験を受けます。試験科目は、英語に加え、大学で習得した専門科目(学科によっては数学を含む)があります。したがって、試験科目に指定された重要な科目を十分に復習することが受験準備になります。別の入学方法として、推薦入学があります。各学科において成績が上位の学生に、推薦入学試験に出願する許可が与えられます。上位の成績を得るには、毎学期の試験に優秀な成績をあげる必要があります。

## Q 就職活動において、企業から研究室への推薦依頼はどれくらいあるのでしょうか。

**A** 各学科には、数十社から数百社の企業より、卒業予定学生の推薦依頼があります。依頼があった企業への推薦学生は、学科の就職担当の教員が希望する学生から選びます。推薦でも自由応募でも、数段階の採用試験や面接を受けて、企業の内定を得ます。推薦希望だけでなく、就職活動に関する相談は、就職担当の教員が応じます。また、大学のキャリアセンターにも、企業からの推薦学生の依頼があります。

## 農学部

## Q バイオテクノロジーについて勉強したいのですが、どの学科を選んだら良いでしょうか。

**A** バイオテクノロジー(生物工学)は技術ですので、全ての学科の幾つかの分野で行われています。どのような動物や植物を対象としたかで、学科や分野を決めるのが良いでしょう。

## Q 文系クラスにいますが、農学部に入學してもついていけますか。

**A** 農学の研究と学習に必要な基礎学力を養う科目が1年次に整備されていますので、それらの科目を受講すればスムーズに農学の専門分野を学ぶことができます。また、生物環境科学科には、農業経済、農産物貿易、地域活性化、循環型社会、環境衛生、農村開発など文系分野の教育研究を行う地域社会開発学コースが設けられています。

## Q 化粧品会社に就職したいのですが、どの学科が有利ですか。

**A** 化粧品会社で何をしたいかで学ぶ学科を決めるのが良いと思います。開発ならさらに大学院に行く必要があるでしょうし、総合職なら特にどの学科が有利ということは言えないかも知れません。

## Q 農作業等の実習には、どのようなものがあるのでしょうか。

**A** 果樹(みかん/茶など)・花卉(シクラメン/カーネーションなど)・蔬菜(かぼちゃ/さつまいもなど)園芸はもとより、水稲は地域の棚田も利用して1年のサイクルで実習できますし、家畜(牛や豚など)の飼育や管理実習も行なっています。

## Q 農学部における食品関係の研究と家政学系の食物学科での研究の違いはどこですか。

**A** 農学部における食品関係の研究は、食品成分の生体・細胞への影響、健康・病気との関係や化学的構造と機能などについて分子レベルまで掘り下げて詳しく行われます。一方、家政学系の食物学科では、食品や食物の栄養学的、調理学的研究が中心になるかと思われます。

## Q 公務員として活躍されている農学部卒業生には、どのような仕事をされている方がいますか。

**A** 農学職・農業職の公務員には(国家総合職・国家一般職・地方上級)の区別があります。近年の就職難から、このような公務員を受験する人が多くなっていますが、難関であることは間違いありません。これらの職に就いた先輩が、それぞれが扱う地域の農業や農業政策をリードしていることは言うまでもありません。